

---

# 気持ちだけ

御伽人

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

気持ちだけ

### 【Nコード】

N5893K

### 【作者名】

御伽人

### 【あらすじ】

若い教師と「パチプロ」女子高生の気持ちの交流

『気持ちだけ』

私は財閥の令嬢だ。17才の女子高生でもある。長女は結婚して後継ぎ問題は解消しているから、出来の悪い令嬢はただ、月に20万の仕送りを受けて、一人で適当に生きている。いつまでもこの生活でいたいけど、OLにもなれそうにない。やっぱりパチプロになるかと思つた。

土日はパチンコに入り浸る。だいぶコツを掴んだ気がする。出そうだなと思う所は確実に出せるようになり、どこにも無い時は違う店でパチンコをする。

屋上で煙草を吸っている。そこで、若い先生と一緒に煙草を吸つ。私心が許した唯一の人だ。秋になり寒くなつてきた。

「先生つてさ。結婚しないの？」

「あんまりもてないんだよ」

「嘘つき」

私は彼女がいることぐらいは理解しているつもりだ。でも、こつちも彼氏がいるし、条件は一緒なのだけだ。

「パチプロになろうと思つてさ」

「いいじゃん。君らしいよ。金が無くなつたら？」

「身体で返そうと」

「そういう事は普通、仮にも教師に言うか？」

「私はただ家に帰る時がくれば、棺桶になつてから行きますけどね」「実家は嫌いななの？」

「多分」

そうして、煙草を吸っている。吸って吐いた煙が宙を舞う。綺麗で、とてもいい香りがする。煙草は、手放せないで、ずっと吸つてしまつたろう。特別格好つけている訳じゃない。ただ煙草の香りが好き

なだけ。

彼氏とはただ部屋でやるだけ。それだけの関係だ。愛情があったのかどうかは忘れてしまった。でも、別れないというのは、きっと女として魅力が多分にある事を自覚する。

「君って、進路決まっているの？」

「さあね」

「俺は大学進学をするつもりだよ」

「オメデタイね」

そう言いながら、煙草を吸う。灰皿には私の一部分が入っている気がする。私は決して、性格がいい女じゃない。だけど、身体が欲する。それだけで付き合いは続いている。多分卒業するまで付き合うだろう。

ナンパをされたら、ついていく。この彼氏との関係が終ればの話だ。

高校三年になった。冬に煙草を吸っている所に雨が降った。先生を誘いたくなった。雨に濡れながら、抱きしめ合いたかった。でも、理性が邪魔をする。

「私が同じ年だったらね」

「うん？」

「何でもない。濡れるよ。先生」

そう言っていた事を思い出す。もう職業欄に高校生と書き込まなくても、「パチプロ」と書いてもいいぐらい自活できるようになった。暇も潰れるし、ある意味やっているよりも楽しいかもしれない。

女子高生らしからぬ一時かなと思った。でも、私服で行くから、年齢なんか分かるはずもない。

先生は来年になったら、学校を転勤する。場所を聞くまでもないと思った。どうせ彼女と結婚するつもりらしい。風の噂でそう聞いた。私は何も言えないまま、去ってしまうのを何故か素直に哀しむ事はできなかつた。先生が選んだ道だ。だから、かもしれない。

きつと、いい父親になるだろう。それでいい。写真も一枚も撮ら

ないようにした。まあ、男はすぐに出来るから。もう心を開く人はいない。構わない。そのうちどうでもよくなるから。

夏は過ぎ、また秋になった。去年もここで、先生と煙草を吸っていたのを、思い出す時が必ず来ると思う。だから、今は先生と二人で煙草を吸ってしよう。

そして、別れの季節がやってきた。彼氏は遠い所へ行くようだ。まだ遊び足りないらしい。普通はそうかもねと思った。

高校卒業式。私は彼氏と別れの言葉を言って去って行った。そして、先生のもとに行った。唯一心開けた人に挨拶に行くためだ。心に口付けをするためだけに行こうと思った。もう二度と逢えないから。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5893k/>

---

気持ちだけ

2010年12月9日06時16分発行